

第227回 長崎寄席

桂文治

独演会



マジック 花島啓丞

「当日プログラム」

- 一、落語 桂 空治
- 二、落語 桂 文治
- 仲入り 福引
- 四、マジック 花島啓丞
- 五、落語 桂 文治

2022 1月29日(土)

開場 17:00 開演 18:00

会場 / ひびきホール まいばすけっと3F

当日一般:3,000円
前売り・予約:2,700円
会員同伴(1名様のみ):2,500円
常連会員:1,500円
中・高校生:1,000円
小学生:500円

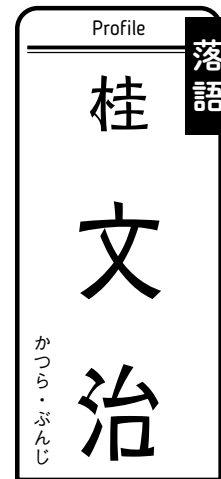
●インターネット
<https://nagasakiyose.jimdofree.com/>
 上記から「お問い合わせ」をクリック。
 もしくは右記のQRからアクセスしてください。



●電話
☎080-6519-5507 長崎寄席世話人会(柴田)

ひびきホール
 「まいばすけっと」3F
 > 西武池袋線東長崎駅 南口から徒歩4分
 > 大江戸線落合南長崎駅 A2出口から徒歩6分

豊島区南長崎 5-8-12



1967年8月25日、大分県宇佐郡院内町(現・宇佐市)出身。
 1986年4月、10代目桂文治入門、「桂がた治」で前座に。1990年6月、二ツ目昇進、2代目「桂平治」を襲名し、1999年5月、同名で真打昇進。2012年9月21日、末廣亭(東京都新宿区)での襲名披露公演にて、11代目桂文治を襲名。同年の8月12日、文治襲名を祝って、新宿末廣亭前から花園神社までお練りが行われた。落語芸術協会所属の落語家がお練りするのは初とのこと。
 1994年、平成6年度「NHK新人演芸大賞 落語部門」大賞。1997年、第7回北とぴあ若手落語家競演会「北とぴあ大賞」受賞。1998年、第3回「林家彦六賞」受賞。2009年、「文化庁芸術祭新人賞」受賞。2013年、平成23・24年度「彩の国落語大賞」受賞。



代表世話人退任のあいさつ

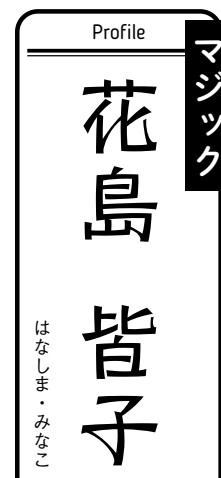
長崎寄席世話人 柴田 紀和夫

長崎寄席は昭和57年(1982年)4月に第1回が開催され、今年で40年目を迎えます。私はその第1回目から携わっており、感慨深い思いをしています。

長崎寄席では最近になって、若くて能力のある人達が何人も世話人になってくれて、将来非常に明るい展望が見えてきました。

私は今年で79歳になります。まだ元気ですが、元気なうちに、この機会に若い人にバトンタッチをしようと思いい、昨年度限りで代表世話人を降りることを決意し、藤井さんに引き継いでもらうことになりました。

やめたからといって長崎寄席と縁がなくなる訳ではなく、出しゃばらずに私の出来る範囲で世話人を続けるつもりです。



1946年12月8日生まれ。東京都福生市出身。
 1961年、中学卒業と同時に、当時新しいスタイルのデュエット奇術と独特の軽妙な話術で人気を博していた松旭齋すみえ(現日本奇術協会会長)の内弟子となる。
 すみえの夫は日本初の腹話術師として一世風靡した花島三郎で、皆子の叔父。7年間の内弟子生活を経て、1968年、22歳で独立。美貌を生かした優美なマジックが高く評価され、女性マジシャンではトップクラスのひとりとして活躍する。
 永六輔の斬新な演出のもと、マジックの世界に新風を巻き起こした。歌って踊れるマルチなマジシャンとして、今後も活躍が大いに期待されている。

本当に長い間色々とお世話になりました。そしてこれからも長崎寄席をひいきにしてくれることを心から願って、退任のあいさつとさせていただきます。

豪快・爆笑の桂文治師匠

長崎寄席世話人 武井 昭三

私と師匠の出会いには、26年前の長崎寄席。二ツ目桂平治(愛称・平ちゃん)でした。

その時の寄席だよりには、「豪快な二ツ目桂平治」と書かれていたのを覚えています。

師匠の落語を聞いて、「何て歯切れのいい噺家だ」と、その時からファンになりました。

長崎寄席には、十一代桂文治師匠になっても常連噺家として度々出演していただき、その都度楽しませてもらっています。

師匠のネタの豊富さとマクラの面白さ

藤井光学は、各種高性能光学系の設計開発および試作から量産まで、多様なご要望にお応えできる光学設計・製造のプロフェッショナル集団です。

藤井光学株式会社
 FUJII OPTICAL CO.,LTD.
 Designer, Manufacturer of Optical Systems & Lenses

〒171-0052 豊島区南長崎5-9-11 ☎03-5996-7661

各病・医院処方箋調剤

漢方相談 / 東京中医学研究会々員
 薬剤師・広田 悦造

(有)ホーム薬局

東京都豊島区南長崎5-10-10
 ☎03-3951-2869 FAX 03-3952-2823

に感心しています。特に私の故郷である信州善光寺の「お血脈」や、権太楼師匠の本に書かれていましたが、協会を越えての権太楼師匠から教えて貰った「幽霊の辻」は、文治師匠だからこそ、見込まれる事でしよう。
 「フーメン屋」もいいです。師匠の人柄が出て、何とも温かい気持ちになります。これからも、生でなくてはの魅力ある落語を沢山聞かせてください。応援しています。

代表世話人を拜命して

長崎寄席世話人代表 藤井岳美

このたび柴田の後任として代表世話人を引き受けさせていただきました藤井岳美でございます。なまえは「ガフミ」と読みます。

柴田さん、長年ご尽力いただきまして有難うございました。

いやー参りました。私11月前回の長崎寄席で外回りの片づけをしており、柴田さんの代表世話人退任のあいさつを聞き逃してしまいました。そつなるのではなにかとすすす感じてはありましたが、先に挨拶をされてしまったら逃げようがないというのが本音です。

聞いてないよ〜！

柴田さんのあいさつ文にもありますよ

田さんの軽妙なトークも含めて、楽しい福引が続けられるようにがんばりますので、ご協力いただけますと幸いです。

また、私ども活動にご助力してくれる世話人も求めています。運営、広報、設営など、色々な仕事を楽しく手伝っていただける人を待っております。

さて私、先日隣の江古田で次回ご出演の桂文治一門会へうかがわせていただきました。後援会を中心にした「文治師匠が好きでたまらない」という空気でみたされた良い会でした。長崎寄席のチラシも快くお引き受けいただきました。

一席目は、次回ご出演いただく空治さんの、文治師匠との旅公演の楽しいマフラからの「だくだく」。本人曰く「あげ」でもらったばかりとは思えず、描かれた札束が目に見えがぶような熱演でした。

二席目は、以前長崎寄席にもご出演いただきました鷹治さんの「天狗裁き」。夢を見た、見ないの掛け合い問答の繰り返しがエスカレートしていくさまは、悪夢が無限ループしていくようです。ぜひまた二つ目会へのご出演をお願いしたいと

うに、最近になって若い有能な人たちが世話人になってくれて、活気づいてきております。

そして、長いコロナ禍での休会状況も脱してやっと長崎寄席を再開出来たところで、また大変なことになってしまいました。地域寄席のなかでも屈指の歴史を誇る、長崎寄席の代表世話人を、まだ世話人会に参加して日も浅い私が引き受けていいものかとも考えましたが、次世代への橋渡しをする役目として、代表を務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

柴田さんをはじめ、先輩世話人の皆様、これまでのご尽力を無にしないようにも努力してまいります。でも、先輩世話人の皆様、まだ辞めさせませんから。まだまだお知恵を拝借することも多く、芸人さんたちとの伝手もある皆様の力を長崎寄席は必要としております。

幸い、妻や娘たちも会の運営を手助けしてくれているので、若い仲間たちとともに、自分も楽しむ気持ちで取り組んでまいります。皆様も、なま温かい目で見守っていただけると助かります。なにと

思いました。余計なことですが私、この話を聞くと、昔好きだった星新一さんのショートショートを思い出してしまいます。そして、トリの文治師匠は、空治さんのマクラを受けての旅の話、学校寄席のはなしから浄瑠璃の説明と膨らんでいき、本日の演目「軒づけ」に入っていきます。私このネタ、昔桂枝雀師匠で聞いて以来でした。上方落語の演目で、あまりこちらでは上演されない話と思います。

世話人の武井さんが、今回の寄席だよりにお書きになられていたとおり、ネタの豊富さに感心するとともに、浄瑠璃にはまった下手の横好きな町内の連中が聞かせる場所を求めて、これまた右往左往するさまを、下手な三味線のしぐさを含めての滑稽なさまに大笑いしてしまいました。

長崎寄席にもたびたびご出演していただいております文治師匠のことを、いままさら紹介する必要もないかもしれませんが、今回の宣伝文句どおり「元気をもらえる爆笑派」そのもので、大変楽しませてくださいました。

どうぞよろしくお願いいたします。

まあ明るく陽気に、いきましよう。

ここからは、今後の長崎寄席について述べさせていただきます。

まだコロナオミクロン株、第6波の状況も見定めづらいところですが、早い段階で真打会の充実につとめ、会員の皆様の好意に甘えている状態を脱して、会員特典の復活を目指していきたいと思いません。とにかく、「地元で気軽に寄席演芸を楽しむ場を作ろう」という本来の目的にそって活動をしていきますので、会員の皆様、近隣の方々に、さらにご来会いただくべく、つとめさせていただきます。皆様も、ご友人をお誘いの上、ご来場いただけますと助かります。

また、こんな芸人さんと呼んでほしいとか、こんな企画はどうだ、などのリクエストも是非お聞かせください。

前回より仲入りに行われ、毎回人気を博していた福引も復活いたしました。以前と同じように、みなさまから福引景品のご寄付を募っております。世話人の石

皆様も、次回の長崎寄席、ぜひご期待ください。

長々と書いてきましたが、これからも長崎寄席を御鼻肩にさせていただきますよう、お願い申し上げます。



包装用品・商店用品・食品容器・事務用品

パッケージプラザ
トコヅメ

☎03-3951-3445 FAX 03-3952-3885
南長崎5-7-11

前回の長崎寄席

幸談一門会

【第226回 長崎寄席】
2021年11月27日(土)

一、ふほめ	玄川 幸路
一、短命	玄川 幸朝
一、死神	玄川 幸多雄
一、江戸糸繰り人形	上 條 充
一、二番煎じ	玄川 幸幸

世話人だより

■朝晩が辛い季節の到来ですが、会場は、談幸師匠の人柄が感じられる、あたたかなムードが漂っていました。

■長崎寄席の創立から約40年、世話人の代表を務めてきた柴田より、代表交代のご挨拶。長い間、本当にお疲れさまでした。2代目代表は藤井が担当します。

■開口一番は、談幸師匠の5番弟子・幸路さんの「子ほめ」。長崎寄席の初高座でした。張りのある大きな声は、会場内で明るく響きます。漸の途中のつまづきもありましたが、今後も元氣いっぱいの高座を期待しています。

■一席目は、幸朝さんの「短命」。長崎寄席

では前座として何度も、そして今年9月に二ツ目になってからは、初めての高座となりました。伊勢屋の一人娘の3人目の婿が亡くなり、ご隠居に、悔やみの方法を聞きに来た八五郎。ご隠居は、娘の器量がいいと聞き、婿が短命な理由をそれとなく話しますが、八五郎にはまったく伝わらず……。調子はいいのに感の鈍い八五郎を軽快に演じていました。「ふるいつきたくなるようなイイーい女」の力が入りっぷりがめちやくちやおもしろかったです！

■前半のトリは幸之進さんの「死神」。コロナ禍で、時間の制限なく家で飲んでしまつというアル中を否定しない「幸之進さん」。「自愛ください……。自殺を考えていた男の前に現れたやせた死神。足元側に

死神がつく病人には、「あじやらかもくれん長崎寄席でけれつつのば」と呪文を唱えれば死神が消え生き残る、と教えられます。この力で大儲けした男は、大金に目がくらみ、病人の布団を回転させて、枕元の死神を足元にするを思いつくが……。幸之進さんの演じる、ちよつと「ミカルで得体のしれない死神、不思議な説得力がありました。ちなみにサゲは、男の行動により死神は死神を廃業して「火防の神」に。「火の用心」といってろうそくを吹き消すという珍しいものでした。

■おまたせしました！仲入りの福引が復活です。飴、スリッパ、エコバッグ、柿など、景品の数がとても多く、たくさんの方に当たりが出て大いに盛り上がりました。

■休憩を挟んで、江戸糸繰り人形の上條充さん。自身で改良を重ねて作った人形を使います。最初は「酔いどれ踊り」。ひよつとこの面をつけた人形は、酒を飲んだり、寝転んだりするその姿は、まるで生きてる小さな人間のよう。酒がなくなると怒り、ひよつとこの面を取ると、下からはおたふくの顔が。「獅子舞」はちよつとよに飛びかかる獅子が子犬のようでかわい

い！獅子舞を演じる二人が獅子の中から見えたり、細かな技が光る演技でした。

■トリは、末廣亭の高座から来た談幸師匠の「二番煎じ」。火事が多かった江戸の町。夜警の役目をする番太だけでは心もとない。集まった旦那衆は、二つの組に分かれ、一晩の間に何度か交代しながら夜回りをすること。一回目の夜回りを終え、寒い番小屋で火鉢を囲み、交代を待つ旦那衆。一人が煎じ薬と称して酒を出したのをきつかけに、猪肉、鍋、ネギが登場します。「こで、温かいお燗をいっつと一杯。師匠の喉を鳴らすその仕草に見入ってしまいました。一膳しかない箸を使って順番に猪肉を食べる場面では「みんな2回ずつ打ってるよね？」で大爆笑！はふはふしながら、熱々の猪肉とネギを食べる様子に、「こちらもお腹が鳴りそうです。手妻や都々逸まで出てきて「明日もやるう！」と盛り上がる番小屋に、管轄している廻り方同心が訪れます。鍋を隠そうとして火鉢の上に座ると、ふんどしに鍋の汁がついてしまい、熱い汁が伝わってきて……。こでじつと我慢する師匠の顔も見ものでした。爆笑に包まれながら、今回の寄席も幕を閉じました。

地域密着の不動産業者

足立土地住宅社

東長崎駅・椎名町駅周辺の
マンション・アパート・駐車場等の
管理、仲介を行っています。

豊島区南長崎5-20-16
☎03-3951-3665 FAX 03-3954-2325

住宅建築設計施工／一級建築士事務所

株式会社 岩井工務店

町の工務店です。
住宅の新築・リフォームを主に行っています。

豊島区長崎4丁目17-5
ライオンズマンション東長崎108号
☎03-3957-1456 FAX 03-3957-1459

電子部品製造

ムサシ電子株式会社

確かな技術で
高い信頼をお届けします

豊島区千早3-12-3
☎03-3959-3351 FAX 03-3959-4990

鮎沢歯科医院

☎03-3565-0118
豊島区南長崎5-14-2
バス停前



<<< 長崎寄席Webサイト
長崎寄席twitter >>>



Webも
チェック!

福祉に関することでお困りの時は何でもお気軽に
みんなで支え合う暮らし・みんなの街

地域福祉研究会

ゆきわりそう



〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-21-7
☎03-3565-3859



せき・こえ・のどに「浅田飴」

【効能・効果】せき、たん、のどの炎症
による声がれ・のどのあれ・のどの不
快感・のどの痛み・のどのほれ



cool



nikki



passion

4種類の生薬
(キキョウ、トコン、マオウ、ニンジン)が
せき、たん、のどの諸症状に
効果を発揮します

浅田飴
せき・こえ・のど

第2類医薬品

これらの医薬品は、薬剤師、登録販売者に相談のうえ、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。

<https://www.asadaame.co.jp/> 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-1-5

優良菓子卸

柴田商店

小売も始めました

- 菓子袋詰め、進物
- 紀州梅干

豊島区南長崎5-3-13
☎03-3951-5933
FAX 03-3951-5483

次回告知

第228回 長崎寄席

春風亭 弁橋・麿馬太郎

よ口籠装(マジック)

2022 3月26日(土)

開場/17:00開演/18:00

会場/ひびきホール

まいばすけっと3F

・西武池袋線東長崎駅から徒歩4分

・都営大江戸線落合南長崎駅から徒歩8分

当日一般:2,000円
前売り・予約:1,800円
常連会員:1,500円
中・高校生:500円
小学生:無料

予約方法

●インターネット

<https://nagasakiyose.jimdofree.com/>

上記から「お問い合わせ」をクリック。
もしくは右記のQRからアクセス
してください。



●電話

☎080-6519-5507

長崎寄席世話人会(柴田)